

平成 28 年度事業計画書

(第 33 年度)

平成 28 年 4 月 1 日から

平成 29 年 3 月 31 日まで

I 公一1 森林、林業の啓発と緑化事業

森林やみどりは、地球温暖化の防止、局地的豪雨の頻発等に対応した山地災害の防止、生物多様性や景観の保全、環境教育や森林セラピー等による健康づくりの場としての利用、緑豊かで潤いのある日常生活環境の確保など多様な機能を持っており、国民が安全で安心して暮らすことのできるようそれら機能を十分に発揮し得る森林・みどりづくりが求められています。

健全な森林づくり、森林・林業の再生、緑豊かな生活環境づくり等について、県民に正しく理解してもらい、参加を促すための様々な取り組みが必要です。

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の規定により長野県が定めた「長野県森林づくり指針」に沿って、行政、NPO、地域住民との様々な形での協働を通じて多くの県民の参加を得ながら、地域の実情やニーズにあった森林の整備や身近な生活環境の緑化等に関する実践的活動に重点をおいて事業の推進に努めます。

平成 28 年 6 月 5 日に本県で開催する第 67 回全国植樹祭の基本計画の開催理念を達成するため、県と共同して緑化の推進を図ります。

1 情報誌等による広報、普及宣伝

森林・林業及び環境緑化に対する県民の更なる理解を深めるため、次の事業を実施する。

(1) 情報誌の発行等

ア 情報誌の発行等

基金業務、森林・林業及び環境緑化等について、県民の理解を深めるため、4 月の緑化シーズンに併せてグリーンキャンペーンを行うほか、新聞広告、機関誌の発行、その他参考資料の配布を行う。また、企業のショーウィンドウを借用して、PRポスターなどを掲示する。

イ 緑の情報サービスの推進（ホームページによる情報発信）

当基金が関わる各種行事、巨樹・古木や森と水の絵本のPR、緑の募金の使途報告など、ホームページを用いて情報を発信し、広く県民の森林づくりや環境緑化への実践参加を促進する。

ウ 森と水をテーマにした絵本づくり

子どもたちがふるさとの森林と川と人との関わりについて、思いを深めることができるように、木曽川上流域を対象に調査し、「森林と水の物語」の原案作成のための調査を実施する。

- ・緑と水のファンド事業（(公社)国土緑化推進機構）を活用する。

エ その他

- ・ 8県からなる中部地区緑化推進協議会の会議を当番県として当基金が開催する。
- ・ 木曾地域の緑化活動を支援している映画「つみやまあひだ」の上映を地区緑化推進団体とともに行う。

2 県民の集い等の開催

(1) 第67回全国植樹祭の開催 (第67回長野県植樹祭)

6月5日(日)、長野県において、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために、長野県と(公社)国土緑化推進機構が共催し、「第67回全国植樹祭」(ふるさと森づくり県民の集い)(第67回長野県植樹祭)を実施する。

(2) 全国植樹祭に併せた県民植樹行事の開催

全国植樹祭に併せて、県下10地域で行う県民植樹会場での行事等を緑と水の森林ファンド事業((公社)国土緑化推進機構)の助成を受け実施する。

(3) 御下賜金植樹

木曾地域の復興を目指して、全国植樹祭の木曾地域県民植樹会場において、天皇陛下から賜る「御下賜金」により、記念植樹を行う。

3 講演会の開催等

(1) 緑に親しむ集い

樹木観察や木の実を使った工作など様々なふれあい体験を通じ、県民が森林や森林の恵みに親しむとともに関心を深めることができるよう、県林業総合センターの体験学習施設を利用して、定期的に、森林整備作業、自然観察などを取り入れた様々な体験型の集いを開催する。

(2) 森林フォーラム

身近な里山の森林整備を推進するため、「森林フォーラム」を長野県、林業関係団体等と共催して実施する。

(3) 野鳥愛護思想の啓発

小・中学校を対象に、児童・生徒の野鳥を愛し緑を育む心を養うため、野鳥観察、巣箱製作・架設など、野鳥愛護の実践活動に対して助成する。

(4) 森の教室の開催

保育園児を対象に、身近な森林を守り、育てる大切さについて、国土緑化推進機構等とともに「森の教室キャラバン隊」の活動を展開する。(東御市、長和町の2保育園で実施予定)

4 森林づくり等実践参加の促進

(1) 林業関係等コンクールの開催

林業関係等コンクールを長野県、林業関係団体等と共催で実施し、健全な森林づくりや環境緑化等に係る様々な活動や成果を顕彰し、県民の実践参加を促進する。

ア ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクールの開催

森林づくり、森林環境教育などに優れた功績があった方の顕彰や小・中学校、高等学校の児童・生徒への環境緑化思想及び野生鳥類の保護の高揚を図るためのコンクールを長野県、林業関係団体と共催で実施する。

イ 木工工作コンクールの開催

小・中・特別支援学校の児童・生徒が木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割を学び木の文化を大切にすることを育てるため、身近な木材を活かして自由な発想で創作した木工工作作品のコンクールを長野県木材青壮年団体連合会と共催で実施する。

(2) 森林環境教育指導者研修会の開催

子どもたちが自然に親しみつつ森林の役割や森林づくりの重要性などについて体験的に学習できるよう、長野県の森林の現状をはじめ、森林環境教育に関する知識や森林に親しみながら理解する手法等の研修会を教育指導者である教職員を対象に開催し、それらの習得を支援する。

(3) 学校林の整備・活用

ア みどりの少年団等森林活動支援事業

児童・生徒が行う森林活動を普及推進するため、林業普及指導員がコーディネーターとなり、みどりの少年団等がNPOや地域の指導者等と連携して学校林整備等を行う団体に助成する。

イ 学校林等の整備

学校林活動の普及促進と森林環境教育の充実が図られるよう、国土緑化推進機構の助成を受け、学校林等の整備を行い青少年の森林体験活動の場と機会を確保する。

事業名 学校林を活用した森林環境教育促進事業

5 都市緑化等の環境整備

(1) 公園等公共施設の緑化

ゴルフ場の協力を得た（公社）ゴルフ緑化促進会の緑化協力金を受けて、公共施設の緑化を実施する。

(2) 小中学校敷地内の緑化

国土緑化推進機構の助成を受け、学校環境の緑化を通じて、青少年への森林環境教育を推進することを目的に、小・中学校敷地内及び周辺環境の緑化、環境教育のフィールドの整備（樹木の植栽・芝生化、樹木の手入れ、ビオトープ等）を実施する。

事業名 学校環境緑化モデル事業（「ローソン緑の募金」寄付金の活用事業）

Ⅱ 公一2 緑の募金事業

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念にある「県民の理解と主体的な参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりとみどりづくりの大切さの普及啓発に努めます。

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に緑を守り育てる緑化意識の高揚に努めるとともに広報等を通じて緑の募金活動を積極的に進めます。

県内各地区の実情に応じた森林の整備、緑豊かな生活環境づくり、次代を担う子供たちの育成などをさらに進めます。

緑の募金による公募事業を広く周知し、健全な森林づくりや身近なみどりづくり、県産材の利活用、森林環境教育などに係る地域における自発的活動を支援します。

みどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動を長野県みどりの少年団連盟を通じて促進します。

平成28年に長野県で開催される第67回全国植樹祭の開催理念の目的を達成するため、全国植樹祭開催準備助成事業を実施します。

1 緑の募金活動事業

(1) 緑化推進の啓発宣伝

ア 広告、CM等キャンペーン

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、ラジオ等によるPRを「緑化推進特別強調月間」中（4月1日～5月31日）等を実施する。

- ・ 新聞広告掲載
- ・ 市町村広報への掲載依頼（市町村ごとの特徴的な緑化活動を特集記事の掲載）
- ・ ラジオCM 4/1～4/14（14日間）
- ・ 街頭募金 5月4日（併せて全国植樹祭開催PRを行う）
- ・ 着胸キャンペーン 緑の羽根、ピンバッジ
- ・ 全国植樹祭の「おもてなし広場」で緑の募金活動を行う。
- ・ 木曽地域の緑化活動を支援している映画「うみやまあひだ」の上映を地区緑化推進団体とともに行い、併せて緑の募金をPRする。

イ 緑の相談

県民の緑の保全、緑化木等への理解と関心が深まるよう、身近な緑化樹木の衰弱や病虫害等樹木に関する相談に対して迅速に対応する相談窓口業務を実施する。

(2) 募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、募金箱等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシ、家庭募金用封筒の作成等を行う。

(3) 募金活動の推進

平成28年の緑の募金額8,000万円を目標に緑の募金活動を行う。

特に、4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、チラシ、新聞などを利用し広く緑の募金を呼びかけつつ、家庭募金、企業募金、職場募金、街頭募金などの募金活動を県・市町村等行政機関、地区緑化推進団体、みどりの少年団等と連携し、展開する。

2 公募事業の実施

特定非営利活動法人等緑の募金公募事業の要件を満たす団体が、環境緑化、森林の整備、木材の利活用、野生動物との共生など公益的な活動を推進するために行う事業を公募し、内容を審査の上、交付金を交付する。緑の募金により事業実施したことを明示した立て札を設置する。

3 緑化の推進等

(1) 森林の整備

森林整備についての県民の意識の向上と理解を深めるため、植栽、下刈、除間伐などの森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して助成(交付金)する。

(2) 森林整備講演会・研修会等の開催

森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係る森林の役割等の周知を図るため、各地区で行われる講演会・研修会の開催に要する経費、山火事防止の広報活動、松くい虫予防活動等に助成(交付金)する。

(3) 公園等公共施設の緑化

ア 学校緑化

学校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)する。

イ 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)する。

(4) 苗木の配布

生活環境の緑化や緑に関心を持ってもらうことを促進するため、緑化木頒布会の苗木等の購入の経費を助成(交付金)する。

(5) 植樹・育樹祭等行事

森林を守り育てる意識の高揚等を図ることを目的に地区緑化推進団体や市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催の経費を助成(交付金)する。

(6) コンクール・講演・研修会

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功労者の表彰式等の開催に係る経費を助成(交付金)する。

(7) 第67回全国植樹祭の開催準備

平成28年6月5日に開催される全国植樹祭の成功を期するため、第67回全国植樹祭開催準備事業として、森林整備や緑化の推進活動への支援や開催準備のための資材等を購入する第67回全国植樹祭長野県実行委員会に対し、助成金を交付する。

4 みどりの少年団育成

次代を担う少年たちが、自然とのふれあいを通じて、森林・林業の重要性を理解し、緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かな健康で明るく育つよう、県内のみどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動について、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するとともに地区事業として実施する実践活動に交付金を交付する。

長野県みどりの少年団交流集会を長野県みどりの少年団連盟と共催する。

第67回全国植樹祭で、みどりの少年団員が式典の手伝いや両陛下のお見送りなどを行う。